



olonowa 音の和

音の和は、ピアノ、アルパ、二胡の奏者が集まったグループで、岐阜市を中心に活動しています。中国の民族楽器の二胡、ヨーロッパのハープを真似して作った南米パラグアイのアルパ、そして楽器の王様ピアノ。ルーツも奏法も違う、民族楽器を含む個性豊かな3種類の楽器の様々な組み合わせでいろんなジャンルの曲を演奏をしています。



●ピアノ
加藤 美香

大垣女子短期大学音楽科総合コース卒業
河村義子氏に師事
ピアノ講師
地元奏者の伴奏者として活躍中。



●二胡
根木千賀子

50歳の時、二胡講師でもある叔母に勧められ、初めて二胡を手にする。二胡の知識や、音楽の知識も無いまま始めるも、北京への演奏旅行、コンクールへの参加、ボランティア活動等、二胡の世界に魅了され、愉しく、幸せな時間を過ごしています。



●アルパ
澤田智美

2006年テレビ番組でアルパを知り、音色の美しさと、軽快な音楽に心を奪われ、すぐに習い始める。2008年に教室主催のパラグアイ演奏旅行に参加し、コンサートへの参加や現地奏者から演奏指導を受ける。現在は上松美香氏に師事。地元を中心にイベントやコンサート、カフェや医療・福祉関係施設、葬儀式での生演奏などを行う。アルパソロだけではなく、アルパデュオ、他楽器とのコラボ演奏にも力を入れる。スタジオアルパ岐阜教室のインストラクター。各種活動が認められ、2016年、岐阜で活躍する女性「ぎふジョ！」に選出される。